■法然(源空･円光大師)　　**浄土宗の開祖。専修念仏に開眼し，大変革期に続々登場する新宗派の開祖の嚆矢に。**
ほうねん
忠盛宋船横領1133＝　　美作国久米南条稲岡荘(岡山県久米郡久米南町)に，押領使漆間時国の子として生まれた。母は秦氏。

崇徳天皇譲位1141＝ 8歳：稲岡荘の預所明石定明の夜襲を受けて父を失い，菩提寺(勝田郡奈義町)にいた叔父観覚にひきとられた。
・・・・・・1142＝ **9歳：**

・・・・・・1145＝12歳：**_比叡山に登り，はじめ西塔北谷の持宝房源光につき，**

・・・・・・1147＝14歳：**_東塔西谷の功徳院皇円に師事，戒壇院で受戒し，出家の本意をとげた。**

頼長氏長者・1150＝17歳：**_隠遁の志深く，西塔黒谷の慈眼房叡空の室に移り，戒律や念仏などの教えを受け，法然房源空と称した。**
頼長内覧・・1151**＝18歳：**

_黒谷には25年間居たが，法然が生涯持戒の清僧ですごし，伝戒の師として貴ばれたのも，この黒谷時代があったからである。

保元の乱・・1156＝23歳：嵯峨の清涼寺に参篭，

さらに，南都で興福寺の蔵俊に法相を習うなど，諸宗を兼学するうち，
平治の乱・・1159＝26歳：
・・・・・・1160**＝27歳：**
_源信の「往生要集」の研鑽につとめ，この書に引かれている唐の善導の著作にひかれ，その教学に傾倒。

清盛太政大臣1167＝34歳：

後白河出家・1169**＝36歳：**

法然浄土宗始1175＝42歳：**＊善導の「観経疏」の散善義の"一心に専ら弥陀の名号を念じて，行住坐臥に，時節の久近を問はず，念々に捨てざる，これを正定の業と名づく，かの仏の願に順ずるが故に"という一文に出会い，たちどころに余行をすて，ここに念仏に帰した。こうして善導をみずからの思想と行動の軌範とする"偏依善導"(ひとえに善導に依る)の姿勢を固めた法然は，善導流の念仏を修する遊蓮房円照(藤原通憲の一子)を西山の広谷にたずねるべく比叡山を下り，ほどなく広谷から東山大谷に移って住房を構えた。**
鹿ヶ谷事件・1177＝44歳：
・・・・・・1178**＝45歳：**
源氏一斉蜂起1180＝47歳：

当初，積極的な布教をしなかったが，
平氏滅亡・・1185＝52歳：
九条兼実摂政1186＝53歳：**_天台宗の顕真が大原の勝林院に法然を招いて催した"大原談義"ののち，その存在が知られるようになる。**
藤原秀衡没・1187**＝54歳：**

奥州藤原滅亡1189＝56歳：**_九条兼実に授戒してその知遇を得，**
源頼朝上洛・1190＝57歳：重源の要請によって，東大寺で浄土三部経を講説した。

鎌倉幕府始・1192＝59歳：御家人の甘糟太郎忠綱と，
・・・・・・1193＝60歳：熊谷次郎直実を教化した。
_初期浄土宗諸派の始祖となる証空，弁長，幸西，長西，隆寛らがこの前後10余年の間にあいついで入門。

建久7年政変 1196**＝63歳：**

・・・・・・1198＝65歳：**＊兼実の依頼により代表的著作「選択本願念仏集」を編集。ついに発得の境地に達し，**
源頼朝没・・1199＝66歳：

・・・・・・1201＝68歳：親鸞も弟子となった。
_専修念仏が高まり，
執権政治始・1203＝70歳：
源頼家暗殺・1204＝71歳：**_延暦寺衆徒に告発された際には，軋轢を避けるため，直ちに七ヶ条制誡をつくって門弟に自重を促す。**
新古今集・・1205**＝72歳：**興福寺衆徒が後鳥羽院に念仏禁断を訴え，
ﾓﾝｺﾞﾙ帝国・ 1206＝73歳：住蓮・安楽事件などで，**＊称名が仏意にかなった行であることを体認した法然は，"偏依善導"の態度をゆるぎないものとし，以後最晩年に書かれた「一枚起請文」に直結する思想に到達したのである。**
専修念仏禁止1207＝74歳：**_四国配流の宣旨が下り，讃岐へ渡った。後鳥羽院の発願になる最勝四天王院御堂供養の大赦により，赦免の宣旨があったが，入洛は許されず，摂津勝尾寺(大阪府箕面市)の二階堂に4年間逗留，**

・・・・・・1211＝78歳：**_ようやく帰洛がかない，大谷の山上の小庵(現在の知恩院勢至堂の地)に入ったが，**
方丈記・・・1212＝79歳：**_病臥し，源智の懇請で念仏の肝要を一紙にしたため(「一枚起請文」)，わずかな門弟に見守られ没した。**

中公シリーズ「日本の名著」，「日本史重要人物101」，「この人どんな人」，「没年日本史人物事典」，「人物日本歴史館」，「日本の群像」，
平凡社百科事典，山田風太郎「人間臨終図巻」，「目でみる日本人物百科」，日本の古典名著，